

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館講座等充実事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	福祉会館における講座を充実させ、利用者の受講機会を増やす。
事業内容	市内15福祉会館における自主事業の講座を充実させ、福祉会館利用者の受講機会を増やして利用者の健康及び生きがいの増進を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	各福祉会館の自主事業として、福祉会館まつりをはじめ指定管理者が実施している各種講座の充実を図るものである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	事業、イベントの内容についての満足度割合	96.40	97.50	96.90	
②	施設の利用しやすさ	96.50	99.20	97.18	%	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度	・福祉会館まつりを実施している会館（駒木台、江戸川台、思井、向小金、十太夫、東深井、南流山、野々下、赤城、西深井、名都借、下花輪福祉会館の12館） ・自主事業として講座を実施している会館（流山、西深井、南、名都借、南流山、平和台、下花輪、十太夫、東深井、野々下、思井福祉会館の11館）		
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	V 民間・NPO（民間企業やNPO、自治会などで代替可能である）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	①福祉会館まつりの実施（12館） ②各種講座等の実施（11館）	③取組の課題	各種講座内容を充実し、利用者が講座に参加しやすい環境を整える。
②今年度(H28)に実施した取組	①4月実施（1館）9月実施（1館） 10月、11月に実施（10館） ②毎月行うもの、年1回行うものをそれぞれ実施	④今後の改善計画	福祉会館の自主事業の充実及び施設内及び敷地内の環境美化に務める